

# まちのわだい

## どぶろくを地域の活性化に繋げる

### 〜第8回全国どぶろく研究大会

#### in鳥取県・伯耆町

「第8回全国どぶろく研究大会in鳥取県・伯耆町」が、3月14日と15日に大山ロイヤルホテルで開催され、およそ300人のどぶろくファンや関係者が参加しました。

この大会は、全国のどぶろく醸造業者や行政職員などが一堂に会し、都市と農山漁村交流をはじめ、地域の活性化を図ることを目的に開催しているもので、中国地方では初めての開催となります。

初日の試飲会・交流会では、参加者は全国から集まったどぶろくを飲み比べたり、どぶろく醸造の苦労話に花を咲かせていました。

また、どぶろくコンテストでは、淡麗の部と濃芳醇の部で審査され、濃芳醇の部では、福岡の株式会社上代が醸造している「源流どぶろく上代(甘口)」が最優秀賞を受賞しました。

2日目は、各どぶろく製造者からの事例発表や、パネルディスカッションを行い、活発な意見が飛び交っていました。



どぶろくの味や香りを確かめる審査員



それぞれに思いを語るパネリストたち

## 音楽で会場がひとつに

### 〜第8回伯耆町民音楽祭

町内の音楽グループが合唱や合奏を披露する伯耆町民音楽祭が3月3日、鬼の館で開催されました。

この音楽祭は、町内のアマチュア団体に発表の場を提供することや、他団体の発表を直接視聴し新しい発見につなげてもらおうと、教育委員会が毎年この時期に開催しています。

今年は、和太鼓のグループや中学校吹奏楽部、合唱団など14団体が出場し、全38曲を披露しました。来場者は、それぞれの特色ある発表に耳を傾け、大きな拍手を送りました。

この音楽祭の様子は、4月6日に伯耆町有線テレビジョンで放送します。ぜひご覧ください。



合唱とバイオリンのコラボレーション

## 豊かな森林を未来に

### つなぐために

#### 〜第13回森林シンポジウム

第13回森林シンポジウムが、2月23日、溝口公民館で開催され、町内外からおおよそ50人が参加しました。

今回は「豊かな森林を未来につなぐために」をテーマに、岸本中学校生徒の林業職場体験発表や、大山自然歴史館館長の矢田貝繁明さんによる講演会が行なわれました。

林業職場体験発表では、「体験を通して林業に興味を持った」「将来林業に就きたい」などの感想が発表されました。

また講演会では、矢田貝館長が、森林を取り巻く現状や問題などについて触れ、その問題解決にはまず多くの人に現状を知ってもらうことが大切だ、と熱く語りました。



林業職場体験を発表する生徒

